

課題に挑む

技術士のソリユーション

[177]

莫大な損失の恐れ

化学工場でテロによる爆発事故、火災や毒性物質の漏洩事故が発生した場合、通常の災害事故に比較して、周囲への健康被害や環境汚染、風評被害などによる莫大な金銭的損失がもたらされる恐れがある。



日本技術士会
生物工学部会副会長

久保 康弘 (生物工学部門)

危機管理 ⑰

化学工場でのテロ災害対応

内外から収集する。普段は荷物の集配員や機械保全の作業員など、なにげない姿で対象に近づき情報収集を行う。集めた情報を元にテロ計画を立案し、実行するときはためらいなく、最小限の工作活動で壊滅的效果を狙

どうすればよいか？ 起業者の役割分担を割り振り、関係者間で情報を共有し対処する「OODAループ(監視/Observe)―情勢判断/Decide)―意思決定/Act)―を回す。

活動で壊滅的效果を狙

OODAループ
初動対応では、緊急対

決意/Decide)―意思決定/Act)―を回す。

予防十発生時の危機管理を

まず迅速・的確な情報提供

う。効果が大きいほどマスコミは注目して報道し、テロリストが出す犯行声明と政治的主張が多くなる人々の耳目を引くことになるからだ。

不幸にもテロ災害に巻き込まれてしまったら、

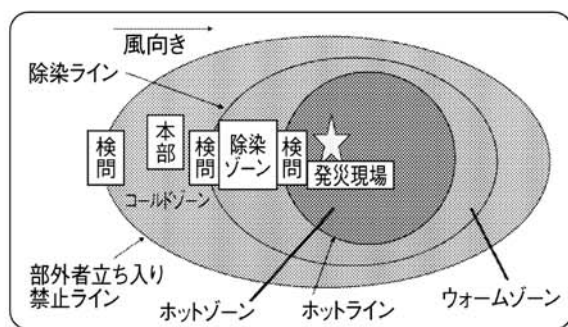
策本部などの指揮命令系統を確立し、迅速性および現場活動との一体性を鑑み、安全を確保しつつも、できるだけ発生現場近くに設置する。現状確認後、最優先で対処すべき事項をまとめあげ、対

活動区域設定

従業員は、毒性物質漏洩時の初動対応(封じ込め)やプラントの緊急停止作業にかかる。必要な器材・薬品(ガス検知器、防護服、マスク、中和

希釈・除染に用いる薬剤など)については、普段の整備・保管・点検もこの場合、救出活動や救助隊員の安全管理を的確に行うため、ゾーンをい

それは日本国内も例外ではない。テロ災害の予防だけでなく、発生時も含めた危機管理を考慮していただきたい。



ゾーニングの一例 (http://icn.kurume-u.ac.jp/seminarH22.6.28htmlより)

や官公庁、さらには自衛隊などの関係機関との連絡体制も求められる。警察、消防、自衛隊が到着すれば、連携の下に被災者に対する救助、除染、救急搬送、物質の検知・同トは国内外を問わず、自らの使命感を達成するためには目的・手段を選ばない。

(火曜日に掲載)